

## 環境活動

### □環境方針

当社の事業活動である眼鏡レンズ、眼鏡レンズのコーティング技術を応用した製品、コンタクトレンズの製造、販売活動が、環境に大きな影響を与えていることを認識し、以下の方針のもと、環境負荷の低減及び汚染の予防に努めます。

1. 環境負荷の低減・汚染の予防を含めた環境目的及び目標を定め、定期的に見直し、環境マネジメントシステムの継続的改善を推進します。
2. 環境関連の法律、条例、規制及び当社が同意する要求事項を順守するとともに、地域及びその他利害関係者の意見を尊重します。
3. 以下の取り組みを積極的に推進し、常に環境に配慮した活動を展開します。
  - (1) 省資源・省エネルギーに努めます。
  - (2) 廃棄物の適正処理及び削減に努めます。
  - (3) 危険物及び有害化学物質の抑制・除去に努めます。
  - (4) 環境に有益な活動に努めます。
4. この環境方針は、全従業員に周知させ意識向上を図るとともに、社外からの要求、その他必要に応じ公開します。

### □ISO14001

#### ISO14001とは

ISO(国際標準化機構)が定めた「環境マネジメントシステム」の国際規格で、企業などが事業活動を行う際に、環境への負荷を軽減する活動を継続して実施するための要求事項を定めた規格のことです。

#### ISO14001認証取得

認証機関: テュフラインランドジャパン

認証番号: 01 104 053263

認証の種類: ISO 14001:2004

認証取得者: 伊藤光学工業株式会社

範囲: プラスチック眼鏡レンズ、ハードコンタクトレンズ、薄膜部品、及び光学機能部品の設計、製造及び販売金型の設計、製造及び販売及び、プラスチック成形品の製造及び販売(東海精密工業株式会社) 関連サイト(認証書の附属書を参照)を含む

適合する規格: ISO 14001:2004

#### ISO14001取得の歩み

2007年5月 認証取得(認証範囲: 本社、豊川工場)

2008年3月 フォローアップ監査

2009年3月 フォローアップ監査

2010年3月 更新監査

2011年3月 フォローアップ監査

2012年3月 フォローアップ監査



## □ 省エネ活動

### ■ 遮光ネットによる断熱

当社は、本社及び第三工場の窓に遮光ネットを設置し、日光による室温の上昇を低減させています。

本社

#### 断熱効果

4階	遮光面積	$1.8 \times 1.3h \times 4面 = 9.36m^2$	
3階	遮光面積	$1.8 \times 1.7h \times 6面 = 18.36m^2$	
2階	遮光面積	$1.8 \times 1.7h \times 6面 = 18.36m^2$	
1階	遮光面積	$1.8 \times 1.7h \times 7面 = 21.42m^2$	合計67.50m <sup>2</sup>
遮断熱量		$67.50 \times 0.9 \times 1 = 60.75kw/m \cdot k(52,239kcal/h)$	
エアコンに換算		21.4馬力に相当	



遮光ネット

第三工場

#### 断熱効果

3階	遮光面積	$1.6 \times 1.2h \times 6.5面 = 12.48m^2$	
2階	遮光面積	$1.6 \times 1.2h \times 6面 = 11.52m^2$	合計24.00m <sup>2</sup>
遮断熱量		$24.00 \times 0.9 \times 1 = 21.6kw/m \cdot k(18,574kcal/h)$	
エアコンに換算		7.63馬力に相当	

### ■ フリークーリングシステム

#### フリークーリングシステムとは

冬季の下がった外気温を活用し、冷却塔にて冷水を作るシステムで、従来のチラー(冷媒を使用した熱交換機)による冷水を作るシステムに比べ、自然エネルギーを活用するためエネルギー消費が少ないシステムです。

当社では2008年より運用を開始し、11月から3月までの間、月に約4.4tのCO<sub>2</sub>排出を削減しました。



熱交換機

### ■ アースコンシャスシステム

#### アースコンシャスシステムとは

アースコンシャスシステムとは、一般的に「環境に配慮している」システムをさします。

当社はエアコンプレッサーの集中設置と一元管理、高効率インバータ照明器具への更新を行い、運転効率の改善と電力消費の削減を行いました。

月に約3.2tのCO<sub>2</sub>排出を削減出来ました。



インバータコンプレッサ



高効率照明

## ■ デマンドコントロール

### デマンドコントロールとは

毎月実測した最大需要電力(デマンド)のうちその当月を含む過去1年間の最も大きな値が契約電力として決定されます。基本料金は契約電力をもとに算定されるので、最大需要電力を管理することで基本料金を節約する事が出来ます。(引用:中部電力 HP)

当社は、通年の電力ピークである7月から9月の電力ピーク値をカットするため、デマンドコントローラ(監視装置)による管理を実施しています。



デマンドコントローラ

## ■ 断熱塗装

当社は、2011年度に本社工場の屋根に断熱塗装を施し、室内温度の上昇の軽減を開始しました。

2012年度は、第二工場及び第五工場の屋根にも断熱塗装を施し、室内温度の上昇の軽減させ、省エネに努めています。



通常塗装  
52℃



断熱塗装  
42℃

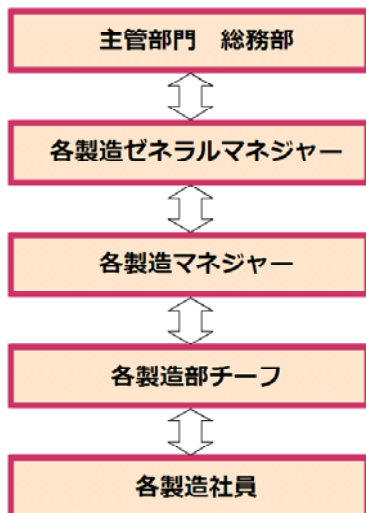
写真は、試験時の比較写真  
(気温32℃ 通常塗装52℃、断熱塗装42℃)

## □地球温暖化対策

### 地球温暖化の対策の推進に関する方針

当社は、地球温暖化対策の重要性を認識し、事業活動に伴う温室効果ガスの排出を各分野における取り組みにより減少傾向に転換させる努力をするとともに、その取り組みを通じて、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

### 地球温暖化の対策の推進体制



### 温室効果ガスの排出の状況

排出活動	排出係数	2011年度	
		活動量	温室効果ガス排出量
電気事業者から供給された電気の使用(一般電気事業者)	0.473	13,243 千KWH	6,264 tCO2
燃料の使用(ガソリン)	2.32	13.7KL	32 tCO2
合計	—	—	6,296 tCO2
エネルギー原単位	—	—	0.892
原単位 2009年度比率	—	0.892/0.950	93.9%

## □廃棄処理場視察

当社は年1回、廃棄物処理場の視察を行い、適正処理を確認しています。



写真は 2011.6.8 株式会社ダイセキ様(優良産廃処理業者認定取得)の視察時の風景

## □グリーン購入

### グリーン購入とは

まず、物を買う段階でその製品が本当に必要かどうか十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境のことを考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入することです。

伊藤光学はグリーン購入を推奨しています。

## □環境に配慮した製品設計

### Heat Guard Coat(ヒートガードコート)

当社は真空蒸着技術を進化させ、熱クラックの発生を画期的に低減することに成功しました。  
従来の有機ARマゼンタ色より自然に感じられるグリーンの反射色の耐熱コートを開発。  
(2009年4月より発売)

## □エコキャップ運動

### エコキャップ運動とは

エコキャップ運動(エコキャップうんどう、Ecocap Movement)とは、ペットボトルのキャップを回収して再資源化業者に販売することで得られた売却益を開発途上国の子どもへのワクチン代として寄贈する運動で、特定非営利活動法人エコキャップ推進協会が推進しています。

- ・小さなキャップでも、分ければ資源です。リサイクルして価値ある材料にしましょう。
  - ・ゴミとして焼却処分されますと、キャップ400個で3,150gのCO<sub>2</sub>が発生します。
  - ・キャップは400個で10円になります。
  - ・ポリオワクチンは1人分20円です。20円で1人の子どもの命が救えます。
- (エコキャップ推進協会 抜粋)

当社は年間1万個を目標として実施し、以下の個数を回収しました。

期間		個数	累計
2009年10月～2011年6月	1年9ヶ月間	28,000個	—
2011年7月～2012年6月	1年間	8,000個	36,000個



## □地域貢献

地域社会から共感を得られるさまざまなボランティア活動を通して、よりよい地域社会の創造を目指します。



蒲郡市 クリーンキャンペーンに参加しました 2012.5.27